

各 位

上場会社名	日本冶金工業株式会社
代表者	代表取締役社長 杉森 一太
(コード番号)	5480)
問合せ先責任者	常務取締役経理部長 久保田 尚志
(TEL)	03-3273-3613)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年10月29日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	133,000	1,900	500	△1,100	△8.89
今回発表予想(B)	136,000	1,000	△700	△10,000	△80.84
増減額(B-A)	3,000	△900	△1,200	△8,900	
増減率(%)	2.3	△47.4	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	97,343	△5,312	△6,635	△12,585	△101.72

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	112,000	1,100	100	600	4.85
今回発表予想(B)	112,000	△500	△1,000	△7,500	△60.63
増減額(B-A)	—	△1,600	△1,100	△8,100	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	73,003	△9,915	△9,429	△12,888	△104.17

修正の理由

第4四半期に入ってから業績は、海外需要を中心に高機能材、一般材ともに販売数量は好調を維持してまいりました。一方、こうした需要の回復を背景にNi価格をはじめとする原料価格の上昇も顕著で、当社としては販売価格の修正を最優先で進めて参りましたが、業績の回復には今一步の段階と言わざるを得ません。加えて、3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」に伴い、川崎製造所が一時操業を停止したほか、当面、安定操業に必要な電力供給や燃料等副資材調達に不透明感を払拭し切れないことから、当四半期に予想していた業績の確保は難しいとの判断に到りました。このため、誠に遺憾ながら平成22年10月29日に公表した業績予想を修正することと致しました。又、こうした業績修正を前提にしつつ、来期以降の財務内容の安定性を確保する観点から繰延税金資産を取り崩すこととし、これを業績予想の修正に加えております。

なお、現中期経営計画は平成23年3月期で終了するため、現在当社では新中期経営計画を策定中であります。足元ステンレス特殊鋼市場を巡る経営環境が様々に変化してきており、これらを踏まえて最終決定し、発表したいと考えておりますので、併せてお知らせいたします。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。